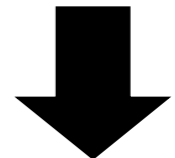


日常生活の課題整理シート

(1) 子育て

村上地区

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
①保育環境の充実	保育園や学童保育所の充実	子育て中の母親や父親が、互いの悩みを気軽に話しが出来る場所の開設。子供を安心して遊ばせることの出来る施設の整備が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・パート保育士の採用等により未満児保育を充実 ・保育延長、休日保育等の早急な導入により子育て世代が安心して仕事に就ける環境整備 ・豊かな自然の中での保育を充実し心身を育む ・子供が集中しやすい保育園などの定員増 ・保育士の資質向上 ・人口予想を踏まえ、計画的な中核保育園の整備 ・住民の納得が得られる保育の対応 ・施設・施設器具等の整備
	未満児保育の充実	各地域の保育園で異なると思うが、パート保育士の採用等で行って行く必要がある。	
	<p>グーグルで「子育て支援」を検索すると厚生労働省関連に続き、5番目に「地域子育て支援センター」として村上市公式ホームページがヒットする。その後、4項目が村上市の子育て支援センター関連で「村上市子ども・子育て支援事業計画」のアクションプランの進捗度が順調であることを示しているものとする。かつ、本事業の一定の充実ぶりを表すものであり、評価できる。</p>	<p>・「あらかわ保育園」は好評であり、今年度から土曜開所を試みている「神林子育て支援センター」の実績が高いようであれば、総合的な子育て支援として成功に向け大きな一歩となる。</p> <p>・定住の里づくりアクションプラン（2）雇用の確保・拡大では特に載せていないが、現在業種を問わず（殊に製造業、観光サービス業）苦しい人手不足が起きていることを照らし考えると、求職者のためにも（3）子育て環境の整備②現行の保育延長、休日保育等の導入が急がれる。</p>	
	<p>同年代の幼児が少なく保育園・学童保育施設での切磋琢磨や社会性に欠ける。自然と触れ合う体験不足で他人への思いやりや体力、精神力、豊かな想像力、的確な判断力が育たない。</p>	<p>魅力ある職場で雇用があり、若者の定住する活気に満ちたにぎわいのまちづくりが必要。婚活で少子化が解消され保育園・学童保育等が充実し、豊かな自然の中でより良い心と身体を育てていく必要がある。</p>	
	<p>地域の子供が近くの保育園に通えるようにしてもらいたい。</p>	<p>子供が集中しやすい保育園などの定員を増やしていくことが大切ではないかと思う。</p>	
	<p>荒川保育園が新設され、それも大型化されてその姿を見ますと、大小のメリットを比較すれば子供達が大勢の中で育つのは大変良い事だと思います。友達作り、競争心、上下関係や指導する先生方も競い合ってプラスの面が前に出ている。</p>		
	<p>山辺里の人からも地元の子供が満員で遠くに預けたとの意見がありました。荒川地区でも同様の事が起きています。中核保育園なのでその対応をしてもらいたい。</p>	<p>広大な村上市であるが、人口予想も出ているので中核保育園づくりの中できちんと設計してもらいたい。</p>	
	<p>子供の予防注射等で、荒川地区の子供が神林に行かなければならないと聞く。多くの対象者のいる所で対応できないものか。</p> <p>働く女性の増加とともに社会の要望が低年齢から保育所に預けるという生活様式が高まり、次第にその割合は増加してきていて、行政も子育て支援の立場から、保育園での受け入れ態勢を強化してきたが、施設や保育士は不足している。また、村上地区では3才児未満児童を遊ばせる施設が狭く、時には危険な時もあり、家庭保育をしている方々から、改善要求を求めている話を聞いている。</p>	<p>どこでも関係する事ですが、合理化を進める上でも納得を得られるようにしてもらいたい。</p> <p>子育て支援は直面している大きな課題でもあり、安心して出産、子育て出来る環境整備を推進していくべきと考える。特に施設・施設器具等の整備は喫緊の問題と考える。</p>	



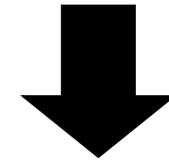
**解決するための
方向性のまとめ**

日常生活の課題整理シート

村上地区

(1) 子育て

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
②子育て環境の充実	便利、快適、スマート、美しい生活を望むことで子育てに行き詰まる。	3世代が集える場、子どもが自由に遊べる場、ママたちがこれで良いと思える教育のあり方を知る場の整備。行政、民間支援団体で協議し統合、新設などムダなく有効活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3世代が集える場の整備 ・ 子供の遊び場の整備※各機関・関係者が協力して無駄の無い施設を整備 ・ 安全に遊べる大きな公園やレジャー施設等の整備 ・ 親同士が悩みを気軽に話しが出来る場所の開設 ・ 子供を安心して遊ばせることの出来る施設の整備 ・ 既存の公園遊具の修繕・環境整備への補助範囲拡大 ・ ファミリーで通年楽しめる大規模な公園の新設
	子どもの遊び場所	子どもが安全で遊べる場所が少ない。大きな公園及びレジャー施設等があれば安全で遊べると思う。それが少子化対策につながるのでは。	
	保育園や学童保育所の充実	子育て中の母親や父親が、互いの悩みを気軽に話しが出来る場所の開設。子供を安心して遊ばせることの出来る施設の整備が必要。	
	公園遊具の補助事業に係わる現要綱では、新設事業のみが対象となっており使い勝手が悪い。	既存の公園等の有効活用を図る為に、補助対象を遊具の修繕や立木伐採等の環境整備等にも範囲拡大をすることで、公園の整備が施され利用者が増えて子育て支援の一助になると思われる。	
	市制10周年記念事業として大規模公園の新設を望む。	一年を通じて家族で楽しめる大規模な公園の新設を望みます。魚沼市の月岡公園は本当に素晴らしい。	



**解決するための
方向性のまとめ**

日常生活の課題整理シート

(1) 子育て

村上地区

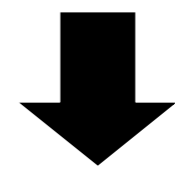
課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
③子育て世代への教育	<p>子育て意識が稀薄もしくは欠如。 子供を保育施設に預け自分たちは遊びに出かける事例も耳にすることがある。</p>	<p>「子育て条例（仮称）」を制定し両親に対する、子育てに関する講座等を実施する。小中学校とも連携する。子育てのハード施設やソフト活動支援以前に古今東西子育ての本質は変わらないはず。子供を保育施設に預け自分たちは遊びに出かける事例も耳にすることがある。</p>	<p>・（仮称）子育て条例の制定 ・小中学校とも連携し、子育てに関する講座等を開催 ・ママたちがこれで良いと思える教育のあり方を知る場の整備 ※各機関・関係者が協力して無駄の無い施設を整備</p> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	<p>便利、快適、スマート、美しい生活を望むことで子育てに行き詰まる。</p>	<p>3世代が集える場、子どもが自由に遊べる場、ママたちがこれで良いと思える教育のあり方を知る場の整備。 行政、民間支援団体で協議し統合、新設などムダなく有効活用する。</p>	
④子育て世代の減少	<p>同年代の幼児が少なく保育園・学童保育施設での切磋琢磨や社会性に欠ける。自然と触れ合う体験不足で他人への思いやりや体力、精神力、豊かな想像力、的確な判断力が育たない。</p>	<p>魅力ある職場で雇用があり、若者の定住する活気に満ちたにぎわいのまちづくりが必要。婚活で少子化が解消され保育園・学童保育等が充実し、豊かな自然の中でより良い心と身体を育んでいく必要がある。</p>	<p>・魅力ある雇用の場の充実 ・婚活による少子化の解消 ・若者の雇用の充実 ・空き家活用による移住促進 ・「よそ者」「若者」が先頭に地域の活性化を図る ・婚活の充実</p> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	<p>子育て世代の定住、定着に難あり。就職、進学を機に地域外へ出た人間が戻って来ない。努力は乏しい雰囲気。</p>	<p>若い人の仕事場は少ない。空き家を活用すれば環境の良いところを発信することにより外から人を呼び込めるのではないか。俗に町づくり地域の活性化は「よそ者」「若者」が先頭になってやっていくと言われている。 未婚の男女が出会う機会を設け、新しいカップル誕生に至るよう地区としても協力する。未婚者が減れば地区に若者が定着し、少しでも人口減の歯止めになると思う。</p>	

日常生活の課題整理シート

(2) 買い物

村上地区

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
①買い物弱者（買い物難民）対策	高齢になり車を手放すことにより、買い物等いつまで一人で 行けるかなど心配する人が多くなってきている。	スーパーなどでは、宅配のサービスも広がってきているよう ですので各集落に注文を取りまとめる人を置いておくような 措置を施す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅配サービスの充実・注文支援 ・ 買い物代行サービス ・ 移動販売車の充実・支援 ・ 移動販売車の充実・支援 ・ 村上市総合計画に支援策を盛り込む ・ 公共交通の再点検、見直し ・ 町内（集落）単位での買い物支援制度 ・ 公共交通の充実 ・ 宅配サービスの充実・注文支援 ・ 移動販売車の充実・支援 ・ 宅配サービスの充実 ・ 各商店の御用聞きの実施 ・ ご近所の小さなコミティーの確立 ・ 公的に作り上げる買い物ゾーン計画 ・ 六斎市の公的資金投入
	食品類を扱う商店は郊外に移転し、車を利用する人は便利に なったが車のない人や高齢者は買い物難民となっている。	1 買い物代行サービス 2 移動販売車（市の助成制度を創設）	
	高齢者の買い物。各地域によって異なるが地域にあった政策。	車の運転のできない高齢者のため、移動スーパー等があれば 良いのでは（週1回）。業者に補助金を出してお願いするとか。	
	瀬波地区に商店がほとんど無くなって久しいが、特に肉や魚 などスーパー問わず日常生活に欠かせない生鮮食品を取り 扱う店がないため、買い物に大変な苦勞をしている。村上駅 前地区でも肉が買えないと意外と思える声もあり、基本目標 3「活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり」施策5、地域 商店街や中心市街地活性化の支援にこの「買い物難民」につ いて言及がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元店舗の衰退による原因は、既にかかなり以前より明らか な事象であり施策5に買い物弱者対策支援を盛り込むべきで ある。 ・ 公共交通体系の整備（基本目標4-7、アクションプラン 34~35頁）でまちなか循環バス、せなみ巡回バス等支援策が 記述され実施されていることは評価されるので、買い物弱者 の視点から今一度点検されたい。 ・ (3) 交通と同じ 	
	今後、買い物弱者が増え続けることが予想される。	ささえあい村上やボランティアのポイント制では限界がある と思われるので、究極的には町内（集落）単位で対応できる 制度の構築が必要と思う。	
	スーパー的な大型商業施設がなく（岩船）、自家用車を持たな い高齢者や専門学校生・大学生（岩船でアパート暮らし）が 苦慮している。	岩船にもまちなか循環バスなどがあると良い。路線バスにし ても本数が少なすぎる。	
	山辺里地区には国道近辺を除けば、商店等はほとんどない。 10年後位には高齢者世帯が増え、日常の買い物もままならな い状況が予想される。	電話、メール等で注文し配達してくれるシステムをコンビニ、 量販店等と連携して構築したらどうか。	
	今のところ買い物には困ってはいないが、この先年を取った らの不安はあります。	昔あった移動販売車の充実が必要かもしれないです。	
	高齢化に伴う問題について	遠隔地での買い物難民問題は今後の課題と考えます。現実的 には、食料品の宅配事業をJAやヨシケイが実施しています。 しかし、その取引数量は皆さんが思っている程では無い状況 です。宅配事業で解決できると思います。	
	近くにお店がなく、高齢者は交通手段があっても異動が難し い場合もある。	各商店の御用聞きをもう少し充実できないものか？（昔のよ うに）	
流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の 買い物が困難な状況に置かれていて、徐々にその増加の 兆候は高齢者が多く暮らす過疎地にある。	まず取り掛からなくてはならないものとして、ご近所の小さ なコミティーの確立であり、公的に作り上げる買い物ゾーン計 画である。 これらを支え充実させていくのが、まちづくり協議会の使命 とも考える。また、市民の台所と歴史的な六斎市は以前から 比べ衰退はゆがめなく、公的資金投入の必要性が来ている感 がある。また、時としてコンビニとの連携も考察していく必 要がある。		



**解決するための
方向性のまとめ**

日常生活の課題整理シート

村上地区

(2) 買い物

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
②地産地消の推進	地元品の取扱い拡大策にもっと力を入れて行く。	地域振興と食の安全、安心の為にJA直売や直接販売のキャンペーンに力を入れて行かなければと考えます。	<p>・JA直売や直接販売のキャンペーン実施</p> <div data-bbox="2184 459 2795 695" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>解決するための 方向性のまとめ</p> </div>
③店舗の立地	現状の買い物に対する不満については。	旧村上市郊外や荒川地区に大型ショッピングセンターがあり、食料品等には問題が無い。その他必要品についても店舗があり現状には問題ない。	<div data-bbox="2184 846 2795 1081" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>解決するための 方向性のまとめ</p> </div>

日常生活の課題整理シート

(3) 交通

村上地区

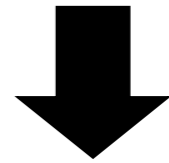
課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
①道路環境の整備	国道 345 号線は冬場になると海が大時化となり、波しぶきと一緒に「砂、小枝、ペットボトル」ゴミが国道に飛散し非常に危険を伴います。(上海府地区海岸線、岩ヶ崎～馬下迄の区間)	市では、海岸線の景観を損なうと言う事で護岸上に飛散防止柵の設置を見送ってきましたが、景観よりも安全な暮らしを最優先することにより上海府地区に住む人が安心、安全な町づくりを形成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上海府地区海岸線、岩ヶ崎～馬下迄の区間へのゴミ飛散防止柵の設置 ・ 瀬波小学校～瀬波トンネルまでの道路を早期に開通 ・ 道路行政（予算付け等）を抜本的見直し ・ 市道管理の迅速化 ・ 日沿道の 4 車線化 ・ 村上駅裏への跨線橋を山居町側へも設置 ・ 冬季主要道路の設定 ・ 歩行者天国の実施 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	国道 345 号線（上海府地区全域）飛散防止柵設置 冬期間は村上の町に勤めていても、大時化による高波で通勤も危険を伴う。通行止めにより帰宅できない。	高波強風による波しぶき、ゴミなどの飛散を防止し安全に通勤できるよう飛散防止柵の設置することで、心にゆとりができて事故を防ぐことができる。特に波しぶきと一緒にゴミ（浜）が飛散する箇所に防止柵を設置することにより安心して運転できます。	
	瀬波小学校～瀬波トンネルまでの道路を早期に開通すること。	1、巡回バスの運行によって交通弱者（お年寄りなど）が少なくなっていると思われます。 2、観光を重点に置く村上市は、瀬波トンネルまでの道路開通により笹川流れや、新しく建設が計画されている村上病院のアクセス道路としても効果が大きいと思う。	
	最も利用の多い生活道路である市道の整備などが最も後回しになっている。ほとんど利用しない国道の歩道はきれいに除雪しているのに、市道の一部の除雪が後回しになっている例が見られる。	村上市単独では解決できないことではあるが、道路行政（予算付け等）を抜本的に見直し、市道の管理が素早く対応できるようにすべきである。ほとんど利用しない国道の歩道はきれいに除雪しているのに、市道の一部の除雪が後回しになっている例が見られる。	
	日沿道の 4 車線化を願う。	国道 7 号線の渋滞も一層緩和されることと、高速道路の片側一車線は特に冬道において危険であるので要望を願います。	
	村上駅裏への跨線橋を荒川側の方へも設置して交通の便を良くしてもらいたい。	村上病院の新設も予定されている。また、駅裏開発で住宅も増えているので病院と一体で作ってもらいたい。高速道路と関連させてもらいたい。	
	冬季の除雪が年々手間取るのでは。	道路が増えて、業者も減少の中で冬季主要道路を作成した方が良いのでは。	
	観光客が近頃多くなってきているため、歩く人が多くなってきた。	土・日だけでも小町、大町通りを歩行者天国にしたらどうか。	

日常生活の課題整理シート

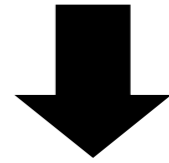
(3) 交通

村上地区

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
②公共交通の整備	公共交通（バス、電車等）利便性の向上。	公共交通機関が便利になることで、高齢者及び車の運転の出来ない方も安心できるようになるのでは。	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、電車等の利便性の向上 ・公共交通のあり方を検討する。 ・岩船地区でのまちなか循環バス、デマンド型交通システム等の運行 ・JRの駐車場と相談し有効利用 ・パークアンドライドの推進 ・自動車使用抑制 ・村上駅周辺に無料市民駐車場施設を設置
	路線バスに乗客の姿がほとんど見受けられない。然も、従来の大型バスに一人も乗客がいないことがとても不思議に感じます。	公共交通のあり方を検討する。	
	路線バスの本数が少なく、自家用車を持たない高齢者、専門学校生・大学生など移動に苦慮している。	まちなか循環バス、デマンド型交通システム等があると良い。（岩船から村上方面に移住する学生が増えている。）	
	朝夕の通学通勤時の駅前の渋滞。	JRの駐車場と相談して、有効利用してもらいたい。	
	現体制の公共交通体制がうまく機能していない	パークアンドライドの進め、公共交通と歩行者優先の交通体制を目指し、バスや電車利用を進めていく。自動車の使用を抑える事を通じて温暖化防止にもつなげていく。まずは村上駅周辺に市民駐車場施設を設置無料化し交通体系を確立させていく。	
③二次交通の整備	市内観光シャトルバス。	市内観光バス（巡回バス）は年々観光客からの利用が増えて行くと思う。観光産業に大きく貢献して行くと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内観光シャトルバスの運行 ・瀬波温泉を基点とする村上市街、笹川流れ方面への観光客の観光ツアー商品 ・現行ルートの観光客のニーズから刷新
	まちなか循環バスのより一層の充実を図る必要がある。理由として、瀬波温泉を基点とする村上市街、笹川流れ方面への観光客の観光ツアーとして、商品として成り立っていない事象がある。	観光による地域振興を進めるため、村上地域の観光資源を活用した旅行商品を造成、第3種旅行業者が将来に村上地域における募集型企画旅行を行えるよう、現行ルートの観光客のニーズから刷新する切り口があって然るべき。	



解決するための
方向性のまとめ



解決するための
方向性のまとめ

日常生活の課題整理シート

(4) 教育

村上地区

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
①教育施設の統廃合・有効利用	少子高齢化による上海府小学校、保育園の閉鎖廃校問題、生徒数の減少に伴い将来的には閉校の恐れがある。	学校を存続させる為には、問題児童の受け皿として活用を考慮する。 小学校を無くさない為に粟島みたいに地方からの留学生を連れてくる。自然が豊か、海の幸、山の幸が豊富。上海府の自然環境を発信することにより、若い人を呼び込み子供の人口が増え、地域の活性化につながります。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校存続の為に、粟島浦村のように地方からの留学生を募集する。 ・複式学級の解消 ・小学校の統合 ・空き学校の有効利用 <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	生徒数の減少により、子供の声が聞こえなくなったとか。複式学級を実施しているが、来年は全校生徒数が25名以下になる学校があると聞いています。早急に対策を考える必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級の解消 ・小学校の統合 ・空き学校の有効利用 	
	子供人口の減少による施設の集約化。	現在も努力されているので一層の取組みと教育レベルの向上に努めてもらいたい。	
②市民の文化教養レベルの向上	県展の村上展開催誘致を積極的に進める。	市美術展覧会への応募者数、応募点数が減少傾向にあります。優れた作品の鑑賞機会を提供することが文化芸術の意識向上につながります。	<ul style="list-style-type: none"> ・県展の村上展開催誘致 ・公的、私的な場での教育、地域での教育の機会の充実 <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	大人の文化、教養に関する機会を作っていただきたい。現在も企画されているが、団塊の世代も65歳を超えて仕事から離れるのでその対象案を願いたい。	現在も努力されているので一層の取組みと教育レベルの向上に努めてもらいたい。	
	市民アンケートを取ると、「自然が豊かで住みやすい」この理由が1番にあげられるのが数十年続いている、市民誰もがこの地の自然を満喫し、そして感じて暮らしている。	「自然が豊かで住みやすい」は市民の心にふるさとして刻み込まれているが、しかし現状で足りないところは、この自然豊かなふるさとを、保全し次世代に渡さなくてはならない責務が、村上で暮らす私たちにあるという認識である。この不足さを埋めていくのは、やはり教育の場であると考え。公的な場の教育と、私的な教育、そして町や集落で対応した教育を進めていかなくてはならない。	
③学力・運動能力の向上	小学校、中学校の入学生が少なく、一学年一学級という状況が続き切磋琢磨や社会性が育たない。保育園から十数年一学級である。スポーツや文化面でもレベルアップできない。	望ましい教育環境検討委員会等で小中一貫校や統合も考えているようだが、学年二学級以上で意欲的に切磋琢磨、学力向上につながる教育をして欲しい。集団スポーツやより良い合唱体験など、どの学校でも出来るよう、また指導できる教員をきちんと配置して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年二学級以上で意欲的に切磋琢磨、学力向上につながる教育 ・中学校と地域の大人と各種スポーツ競技の実施 <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	学校と地域のつながり。	中学校と地域の大人と各種スポーツ競技の実施で学校と地域とのつながりが出来ると思う。	

日常生活の課題整理シート

(4) 教育

村上地区

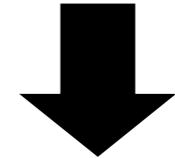
課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
④愛郷心の醸成	<p>県外、殊に東京の著名大学へ進学することを目指すことは、今と昔も変わらないし人生のある若い時期、首都へ出て生活することは極めて有意義であるが、であるからこそ基本目標5-1「郷育のまち・村上」の推進を打ち出したことは適時である。</p> <p>進学等で地域を離れた人たちに、地元に戻ってもらうには何が必要なのか考えたい。</p>	<p>・村上を離れて愛する故郷村上に誇りを持って、村上地域に思いを馳せ、村上地域を人に知らしめる行為は大変尊いことである。そこで、「観光立市村上」を宣伝することで交流人口を増加させ、定住の里プランを確実に進めることのできる観光産業に立脚する村上を学校教育の場で教えるべきである。</p> <p>・参考は、村上市観光協会が村上商工観光課から委託された今期事業「市民観光講座」がある。</p> <p>一番は仕事かもしれないが、子供の頃から地域社会との繋がりを感じてもらう必要があるのかもしれない。</p>	<p>・「観光立市村上」を宣伝 ・観光産業に立脚する村上を学校教育の場で教える ・子供の頃から地域社会との繋がりが感じられる取組</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>解決するための 方向性のまとめ</p> </div>
⑤不登校対策	<p>学校に行けない子対象の適応指導教室利用者がほとんどいない。指導員が教員退職後の方なので、学校と指導観がほとんど同じで子どもが行きたがらない。</p>	<p>民間支援団体との連携を深め、指導教室のカリキュラムの中に参加してもらう。また、意見を交換する。</p>	<p>・民間支援団体との連携を深め、指導教室のカリキュラムの中に参加 ・民間支援団体との意見を交換</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>解決するための 方向性のまとめ</p> </div>
⑥高等教育研究機関の誘致	<p>市内に高等教育研究機関がない（少ない）。</p>	<p>村上市の文化や産業に関連する大学（附属機関）、専門学校の誘致を促進する。</p>	<p>・大学（附属機関）、専門学校の誘致促進</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>解決するための 方向性のまとめ</p> </div>
⑦スポーツ大会等の市民周知	<p>スポーツ大会など市民への周知が足りていないのではないのでしょうか。県の駅伝大会など新聞で選手名を知る前に教えてもらいたいです。</p>	<p>市の広報などで出場選手の紹介など知らせたりしたら、もっと市民の関心度が増すのではないのでしょうか。</p>	<p>・市の広報などで出場選手の紹介</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>解決するための 方向性のまとめ</p> </div>

日常生活の課題整理シート

(5) 行政

村上地区

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
①行財政改革の推進	市行政の組織改革や人員削減により、各支所等では職員数が減少し地区住民のサービス低下となっていると良く耳にします。また各支所の空室の有効活用は。	市町村合併により支所の人員減や機能の低下はやむを得ないものがあると思う。 今一度、機構の見直しが必要と思う。 例、教育部局は学校の数が多い市役所庁舎に置くことが望ましい。スペースがない時は交通の便の良い神林支所に全ての教育部局を移したらどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構の見直し ・各支所の空室の有効活用 ・簡素で効率の良い行政経営の推進 ・支所間での職員の人事交流の活発化 ・人事評価の実施 ・各課・支所間の連携、事前打合せ ・職員数の適正管理 ・不利用施設の公開 ・同施設の対処策の検討 ・様々な審議会、協議会、委員会等の整理
	印鑑証明や住民票を取りに市民課の窓口へよく行くが、対応の良さに感心する。「市民サービス」がしっかり維持されているものと思う。基本目標6-4職員意識改革の実践の賜物であろう。	簡素で効率の良い行政経営は、民間企業ではマルチタスクジョブ等の様々な「改善」を行うイメージであり、いかに生産性を増やすかということに尽きる。当市は行政サービスの改善に向け「職員研修基本方針」を忠実に実践している証であろう。「最大の説得者は事実である」。	
	職員の実績や議員の活動が見えない。	支所間での職員の人事交流の活発化と、人事評価の実施。	
	各支所間の連携をしっかりともらいたい。	お互いに忙しいかもしれないけど、現場で打合せ出来ないことが目立つ時があるので事前にしてもらいたい。	
	行政コストの削減を。	高齢化による税の減収は大きく、人口対職員数等はきちんと管理して行くべきと思います。前大滝市長時は3割減との目標があった。今後取り組んでももらいたい。	
	不利用施設の公開を。	あまり効果の無いものは公開して、その後の対処案を検討すべき時代ではと思います。	
	市町村合併後、七年半が経過しております。多方面でスリム化を検討しても良い時期かと思えます。	様々な審議会、協議会、委員会等があります。確かにそれぞれに設置目的がありますが、(失礼ですが)似かよった会議が似かよったメンバーで運営されていると感じる時があります。	



**解決するための
方向性のまとめ**

日常生活の課題整理シート

(5) 行政

村上地区

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
②議会改革の推進	職員の実績や議員の活動が見えない。	議員による地域懇談会等を定例的に全集落、全地区で実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・議員による地域懇談会等を定例的に全集落、全地区で実施 ・市議会議員の定数についても見直し <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	市町村合併後、七年半が経過しております。多方面でスリム化を検討しても良い時期かと思えます。	なお、この度で求められている提言からは外れているとは思いますが、市議会議員の定数についても見直しがあっても良いのではと思います。	
③市民協働のまちづくりの推進	市民アンケートを見てみると依然として、行政への依存度が高く自ら主体的に問題解決に取り組む姿勢が少ない、あくまで行政がやってくれるのを待っている状況では何もまちは進歩していかない。	主体的まちづくり活動を進めていく中で市民の意識改革は時間がかかり手間もかかると思う。行政がしていかなければならないところと市民が自ら考えてやらなければならないところ、そして、市民と行政がそれぞれの立場で取り組まなければならないし、市民もまちづくり活動に積極的な参加をしなければならない。この考え方を、今後も啓発を継続していかなければならない。	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発の継続 ・地域行事の活性化 ・町内会・自治会の活動支援 <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>
	文化、スポーツ、芸能等の地域行事について。	これらの行事等は各地区のまちづくり協議会が先頭になって地域を盛り上げる必要がある。 地域外に住んでいる人たちも参加出来るようになるのでは。	
	「市民協働のまちづくり」の推進組織「地域まちづくり組織」がある。町内会などの支援など画期的である。本まちづくりを大いに進められたい。	町内会や自治会と行政は、まさに協働の関係であり各町内会の住民は自助、共助、公助実現の役割があるものと思う時、地域のつながりとそれを担う町内会の役割と相まって「市民協働のまちづくり」推進をお願いしたい。	
④災害対策	津波対策の避難路整備事業 大地震で10メートルを超える津波の予想がある。現在の避難場所で安全が確保されるのか心配です。	上海府地区は海と山に囲まれた自然豊かな地域です。大津波が来た場合近くの山へ避難せざるを得ません。山道はあるのですが、草木が生い茂り高齢者にはとても無理です。山道を整備する事により住民の安全、安心が確保され少しでも住民の不安が解消され活性化につながると思えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・山道を整備し安全な避難路、避難場所を確保 <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">解決するための 方向性のまとめ</p> </div> </div>

日常生活の課題整理シート

(6) その他

村上地区

課題	具体的事象	解消案・理想像など	解決するための方向性
①岩船沖洋上風力発電事業	<p>岩船沖洋上風力発電事業が決定し、営業運転できるようにする。建設に関わる調査や建設機材等運搬港を岩船港とするよう、岩船港を充実させる。部品製造会社、メンテナンス技術者養成学校、関係者宿泊施設、商業・娯楽施設等々、見通しを持った計画とそれに伴った施設ができていって人口減少ではなく人口増加を見る村上、魅力ある活気の満ちた村上、観光や視察に訪れる団体客等が増えていく村上、となるように推し進めて行ってほしい。</p> <p>岩船沖洋上大型風力発電事業について</p>	<p>良い学校＝進学校・学力の高い学校があり学生が集まらないと良い医者が来ない。とか、自然豊かでより良い商業・娯楽施設がないと人は集まらない。そしてより良い宿泊施設もないと、と言われます。高いビジョンと長期的な見通しを持って推し進めて行って欲しい。災害の少ない風光明媚な村上、鮭と酒と情けの厚い村上、日本海側で名高い都市村上となりますように。人口減少解消（婚活支援で）、少子化解消、若者の溢れる活気ある村上に。</p> <p>現在岩船沖洋上大型風力発電事業が進められているが、事業内容を聞いても、現在設置運用している他地区でのデータや、具体的な説明が乏しく、客観的に見た具体性や根拠性に欠けるまま進んでいる現状がある。この事業は広域の生態系・景観に大きな影響をきたす事業であり、しっかりとしたアセスをやり、市民に説明し市民が認識したうえで、配慮書をまとめていかなければならないと考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岩船港の充実 ・関連施設の誘致 ・環境影響への配慮
②耕作放棄地・里山荒廃対策	<p>耕作放棄地や里山の管理が行き届いていない。このため鳥獣害も増えている気がする。</p>	<p>実態を把握し、耕作放棄地の有効利用や里山の再整備を行う。森林公園や地域の特徴を生かしたビオトープの整備も面白い。教育にも生かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地及び里山荒廃の実態把握 ・耕作放棄地の有効利用 ・里山の再整備
③空き家・空き店舗対策	<p>町屋（商店街）にシャッターが目立つ</p> <p>空き家</p>	<p>物づくりの人達に提供して、店先で実演してもらう（堆朱、織物、手芸、焼き物など）</p> <p>行政で水回りだけでも直し、住めるようにして、若い家族に安価で貸すもしくは無償で住んでもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物づくりの人達に提供して、店先で実演してもらう（堆朱、織物、手芸、焼き物など） ・空き家を行政が水回りだけでも直し、住めるようにして、若い家族に安価で貸すもしくは無償で住んでもらう。
④交流人口対策	<p>村上出身あるいは、村上に縁のある人との交流</p>	<p>外に出ている力強い応援団になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村上出身あるいは、村上に縁のある人との交流